

6月10日（月） 全校朝会 校長先生のお話です

～できることを続ける それが環境保全につながる～

おはようございます。お話をします。

6月は平成3年度から環境月間と定められています。平成3年度といともう33年前になります。環境月間とは未来のために自然環境を守る環境保全の大切さを確認し、この6月に環境保全にむけての行動のきっかけとなる月にしようという目的で定められました。

それでは、現在の自然環境はどうでしょうか。先週ニュースで流れていたのは、5月の世界の平均気温が今まででもっとも暑かったということでした。これは、今年の6月から12ヶ月連続になるそうです。それだけ地球温暖化が進んでいるということですね。それだけこの何年間でも気候が変化し、温暖化が進んでいるのがわかります。このままでは、自然災害が今まで以上に多くなり、その規模ももっと大きくなっていくおそれがあります。

それでは、私たちはどんなことに気を付ければいいのでしょうか。みんなが環境保全に向けてできることは、身近なことで続けられることを継続していくことが大事です。だれもができることは、できるだけゴミを出さないことです。無駄なゴミをださないために、物を大事に使う。落とし物をしない。食べ物を残さない。こういうことなら、だれもができるはずです。これを一人一人が継続できれば必ず環境保全につながるでしょう。今日から実行してみてください。

さて、先週はみなさんを見ていて運動会の疲れを感じる1週間でした。それだけ。運動会に向けて精一杯取り組めたということですね。しかし、まだ運動会で経験したことが学校生活に生かされていません。今週は、運動会で経験しことが少しでも学校生活に生かせる場面を多く見せてください。お話を終わります。